

育成 あさくち

令和2年4月1日 No.32
浅口市青少年育成センター
春号

陽春の光を受け、令和2年度を迎えます。皆様には、新型コロナウイルス感染症の予防対応やご配慮の日々が続いておられるのではないかと拝察いたします。

健康安全や日常、社会と互いの関わり、生活を成り立たせる基盤等々について、改めて考える機会ともなっています。

子ども達や若者、関わる大人達も、特異な状況や新たな課題を抱える中でのスタートとなります。皆様には一層のご支援ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

本年度、当センターは小竹、藤井、大島の三人の布陣で努めてまいります。

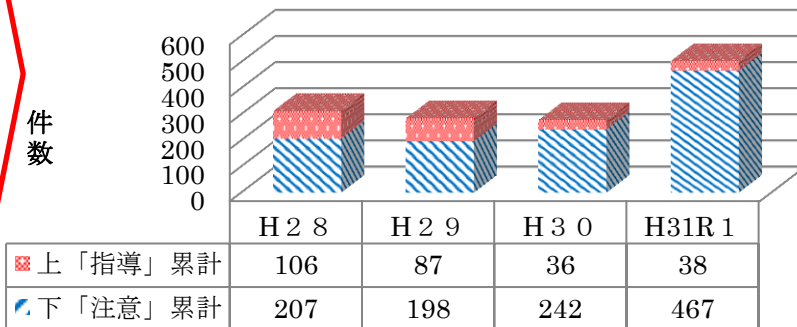
★ パトロールから ★ 近年の状況

近年、減少傾向にあった
が昨年度は増加している。

交通問題が最多。次いで
交友関係。

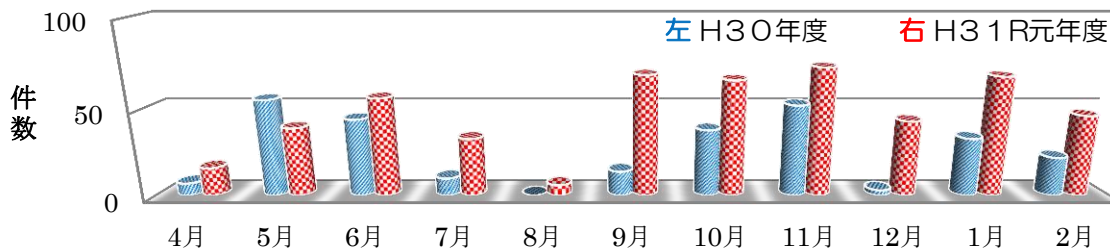
加害も被害も防止を！

浅口市青少年育成センター実施パトロール結果
「指導・注意」 年次推移 (4月～2月)



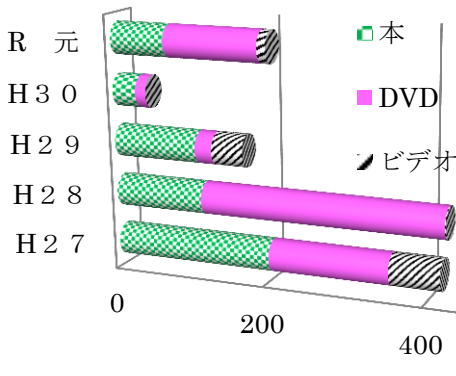
月別状況

パトロールによる「指導・注意数」月別状況 (件)
(指導員からの「声掛け」レベルのものは除く)



白ポスト回収 (個数)

環境浄化活動の一環で
年4回、回収している。
ネット対応と共に、白
ポストも有効活用を。





令和元年中における岡山県の少年非行の概要

岡山県の少年非行の現状

岡山県の令和元年中の刑法犯少年数は前年より1割強減少し、非行率（10～19歳の少年千人に占める刑法犯少年の割合）も前年3.4人であったものが2.9人とやや改善しましたが、全国的にみればワースト4位（前年3位）と依然下位を辿っているのが現状です。

1 刑法犯少年

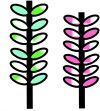
◇刑法犯少年は1割強減少

刑法犯少年は犯罪少年375人、触法少年180人の計555人で、前年に比べ14.6%減少しています。



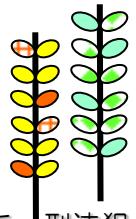
◇全刑法犯の2割弱は少年

成人を含めた刑法犯総検挙・補導人員(3,106人)に占める少年の割合は17.9%で、前年に比べ2.7ポイント低くなっています。



◇触法少年の補導人員は減少

触法少年の補導人員は180人で、前年に比べ42人減少しています。



◇刑法犯少年の約半数は窃盗犯少年

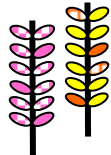
窃盗犯少年は282人で、前年に比べ101人（-26.4%）減少しています。また、刑法犯少年に占める窃盗犯少年の割合は50.8%で、前年に比べ8.1ポイント低くなっています。

◇刑法犯少年の約半数は初発型非行

初発型非行で検挙・補導された少年は272人で、前年に比べ68人（-20%）減少したものの、刑法犯少年に占める割合は49.0%と依然と高止まりの状態です。

◇非行の主流は中・高校生

刑法犯少年の学識別では、中学生172人、高校生136人で、刑法犯少年全体の55.5%を占めています。

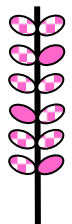


2 不良行為少年

◇不良行為で補導された少年は2,475人で、前年に比べ420人と大幅に減少しています。

◇行為別では喫煙が1,222人で最も多く、次いで深夜徘徊の874人となっています。

◇学識別では高校生が893人(36.1%)と最も多く、次いで中学生が438人(17.7%)となり、高校生、中学生で全体の約半数(53.8%)を占めています。



令和元年中における玉島警察署管内の少年非行の概要

玉島署管内の昨年の刑法犯認知件数は569(+49)件で、前年に比べ1割弱増加しました。

◇警察に逮捕、補導された刑法犯少年は34人で前年に比べ3人増加しました。

◇刑法犯少年のうち、最も多かったのは窃盗で16人です。窃盗犯を手口別にみますと、万引きが一番多く5人で、次いで自転車盗4人、自動車盗2人となっており、前年に比べ総数で2人減少しました。

◇昨年警察に補導された不良行為少年は、48人で昨年よりも129人減少しており、行為別にみますと、深夜徘徊が最も多く24(-57)人で、次いで喫煙17(-50)人となっています。